

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M343A102	ドイツ語 II (German II)	融合人材育成科目 国際力強化科目群

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	1	後期	月・1	野村 文宏 (非) 内線： E-mail : fnomura@nm.beppu-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

ドイツ語Ⅱでは、ドイツ語Ⅰに引き続き、初級ドイツ語文法の後半を学ぶ。後半は、完了形や受動態など「文法らしい文法学習」になる。既に学んだドイツ語知識と比べながら学ぶことで、ドイツ語文法について「大きく理解」する。

前期と同様、言語の本質やドイツ文化（および日本文化）の話題も提供し、さらに、ドイツ語初級文法を一通り学ぶことで、語学学習の方法を振り返り、新しいことの学び方について学修する。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. ドイツ語検定 4 級程度のドイツ語力を習得し、簡単なドイツ語が理解できる。		○				
2. ドイツ語学習を通して、言葉の本質や異文化の基礎を理解できる。						

【授業の内容】

1	前期授業の振り返りと復習	9	命令形
2	形容詞の格変化①	10	過去形・過去分子の作り方
3	形容詞の格変化②	11	現在完了形・過去完了形
4	分詞①	12	受動文
5	分詞②	13	zu 不冠詞
6	語法の助動詞①	14	関係文
7	語法の助動詞②	15	後期授業のまとめと試験について
8	人称代名詞と再帰代名詞		

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A : 知識の定着・確認	○	C : 応用志向		小テスト
B : 意見の表現・交換		D : 知識の活用・創造		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	準備学修はとくに必要ない。事後学修に力を入れて欲しい。
事後学修	授業で学習したことの復習(10h)、練習問題(8h)、長文テキスト読解(4h)

【教科書】

『ドイツ語のスタートライン』 在間進、三修社 (1,760 円) 978-4384053708

【参考書】

ドイツ語の辞書を持っていない場合には、『アクセス独和辞典』 在間進、三修社 (5,082 円) 978-4384060003
家族や親戚の使った辞書がある場合には、使用できるかどうか確認するので、初回の授業に持参すること。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4
暗記事項定着のための小テスト	30%	○			
期末試験	70%	○			

【注意事項】 語の習得のためには、暗記・理解し、習熟することが必要です。ドイツ語は暗記事項が多いと感じるかもしれませんが、真面目に取り組めば簡単に暗記できます。きちんと暗記したうえで考えながら学習すれば、ドイツ語は学習しやすい言語です。未知の言語に是非挑戦してください。

【備考】 ドイツ語Ⅰとドイツ語Ⅱは連続していますので、ドイツ語既習者以外は、続けて履修することを勧めます。

教員の実務経験の有無	×	
教員の実務経験		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態		面接授業